

「TOKOWAKA」産業観光推進による地域振興とシビックプライド醸成 ～三重県産業観光推進協議会の設立～

桑名市産業観光まちづくり協議会は、三重県観光局と共に地域企業に働きかけ「桑名式産業観光」を三重県全域に領域拡大し、アフターコロナを見据えた「新たな観光」による地域振興と周辺地域の次世代を担う子供たちに地域産業の魅力を伝えていくため、「三重県産業観光推進協議会」を設立いたします。



三重県産業観光推進協議会

TOKOWAKA (常若(とこわか))=いつまでも若々しいこと。また、そのさま。)

伊勢神宮における式年遷宮は、神様は常に新しい神殿でお迎えをするといった思想から20年に一度新たに造営するのだが、これはまさに「常若(とこわか)」という考え方を表すとされる。

我々「三重県産業観光推進協議会」は、日常である価値が潜在化した企業活動を磨き上げを行い、新たな観光資源として有料提供し、国内外から経営層・学生など多くの誘客を計画する。

また、三重県地域企業の見える化を進むことにより互いに刺激を受け、変化の時代において当地域における持続可能な積極的な企業の進化(常若)に期待する。

また、コロナ感染拡大により地域滞留が進むことで高まってきたシビックプライドを当活動を通じて地域産業の魅力を地域住民や次世代を担う子供たちに伝えていくことでさらに高め、地域課題である人口減少と人口転出を抑えていくことにも中期的にも役割を果たしていくことを目指す。

■三重県産業観光推進協議会 概要

1. 業 務 三重県地域企業による有料型 産業観光(企業視察研修)の推進
2. 参 加 (順不同)

(株)マस्याグループ本社・三重テレビ放送(株)・(株)ナベル・木村石鹼工業(株)・錦城護謨(株)・速水林業
国立鈴鹿工業高等専門学校・臼井織布(株)・山路栄一志事ネットワーク研究所・新日本工業(株)
学校法人 津田学園・オーケーズデリカ(株)・イオンモール桑名(株)・(株)伊勢志摩ツーリズム
(有)山口陶器・(株)NTN三重製作所・井村屋グループ(株)・日本郵便(株)桑名市内郵便局・エイバックス(株)

■これまでの経緯概要

エイバックス(株)は2008年から桑名市の自動車部品製造工場をインバウンド経営層向けに有料で「産業観光」を推進し、年間4,000名の来訪者を受入れてきた。2016年にエイバックス(株)の活動を基本として、桑名市長の呼びかけにより「桑名市産業観光まちづくり協議会」が設立され、製造業や学校、金融や行政など幅広い業種の企業の参加及びご協力により、10km圏内に立地する複数の視察先企業を効率に見学できる有料産業観光が確立した。当事業は日本観光振興協会・全国産業観光推進協議会により2018年「産業観光まちづくり大賞金賞」、2020年産業観光まちづくり大賞特別賞を受賞するなど新しい観光として注目をされている。

設立から成熟してきた桑名市の産業観光は海外からの工場見学事業のパイオニアであり、従来の社会見学とは異なり、経営思想・企業管理・改善活動などといった日本のビジネス文化とノウハウを学ぶことができる貴重な学びの機会を提供していた。コロナ禍の現在は「リモート産業観光」に切替え実施してきたが、アフターコロナを見据えて産業観光のノウハウを三重県全域に領域拡大し、三重県全域の潜在観光資源を磨き上げて国内外からの産業観光事業を推進するため、「三重県産業観光推進協議会」を設立し、産業観光ツアーの企画をはじめ、観光客の受け入れ・サービスの提供等、産業観光にかかる事業を実施する。



■地域ぐるみの産業観光

「三重県産業観光推進協議会」の官民連携体制により、様々な地域産業と企業を巻き込んだ観光コース作りを手掛け、顧客への提供を進めていく。また、この魅力あるコンテンツはオープンにして、地域住民や地域の次世代を担う子供たちに積極的に提供することで地域に対する関心を高める企画も協議会として計画的に実施する。

この活動を通じて、地域の持つ人口減少や人口転出などの課題解消に貢献できるよう協議会会員企業の増強も進めていく。

■本件のお問い合わせについて■

三重県産業観光推進協議会準備事務局 加藤美和

✉ kato_m@avex-inc.jp / ☎ 052-811-1171